

アニマルランド NEWS

わんぱーくこうちアニマルランド
№92 Jul 2018

動物園de就活★

ジャガー赤ちゃん「ハク」だより
アニマルランドの新人飼育員として

4月から6月

- ～4/8 わんぱーくこうちまつり 開催
- 4/4 臨時開園
- 4/15, 5/3～6, 6/3 裏側探検隊 開催
- 4/29 第21回カブトムシの飼い方教室 開催
- 5/20 スマトラトラ アカラの誕生日会(ワンポイント)
- 6/21 オシドリ 誕生 (1羽)



わんぱーくこうちまつり



1万本のチューリップとクイズ大会で楽しんでいただきました。

5月の裏側探検隊は動物病院の案内で動物園の獣医師は、どんなお仕事をしているかな？

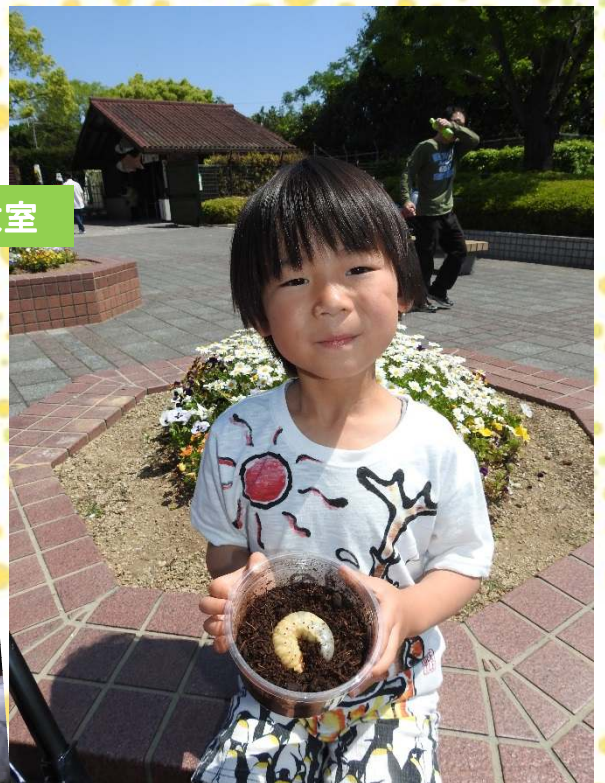


裏側探検隊



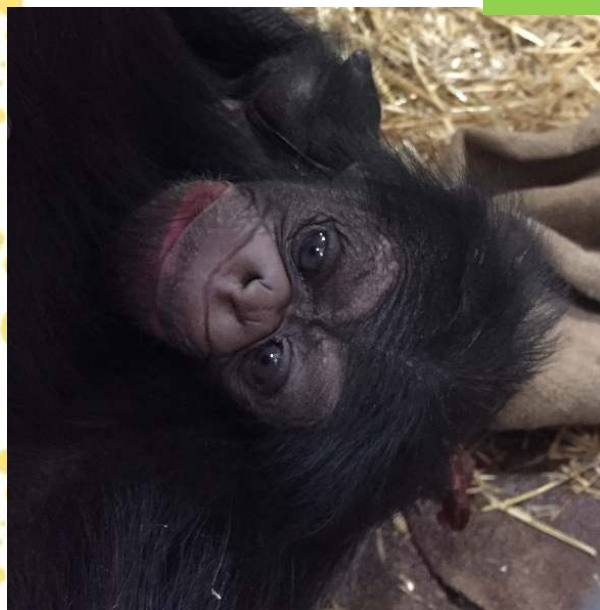
カブトムシの飼い方教室

今年もたくさんの方が参加してくださいました。そろそろカブトムシの幼虫が成虫になってきているでしょうか？大切に飼育してね。



のできごと

京都市動物園へ移動したチンパンジーのローラが赤ちゃんを産みました



繁殖のための貸し出し(ブリーディングローン)で、京都市動物園に移動した、チンパンジーのローラが6月13日に待望の赤ちゃんを産みました。ローラは2016年にも出産しましたが、早産で赤ちゃんが未熟だったため生後1日で死亡していました。今回の赤ちゃんは予定日を過ぎて生まれ、毛深いしっかりとした赤ちゃんです。元気に育ってくれるとことでしょう。赤ちゃんはオスのようです。ぜひ、京都にローラの赤ちゃんを見に行ってください♪

オシドリのヒナ誕生

オシドリのヒナが生まれました。雨が打たれて弱いです。育てよう中です。



土佐清水市にのみ生息する 新種のサンショウウオ トサシミズサンショウウオ



トサシミズサンショウウオ

本県の土佐清水市に生息するオオイタサンショウウオについて、大分大学等との共同研究により、^{いでんがくてき}遺伝学および形態学的に精査し科学的に検討を行った結果、九州(大分県・熊本県・宮崎県)に生息するオオイタサンショウウオとは別種であることの確証を得ることができました。その論文が、^{はちゅうりょうせいの}米国の爬虫両生類関連の学術雑誌 Herpetologica(74巻2号)に掲載され、新種として「トサシミズサンショウウオ」*Hynobius tosashimizuensis*と命名しました。研究チームは、高知大学出身の菅原弘貴理学博士、大分大学永野昌博准教授、わんぱーくこうちアニマルランドの園長渡部孝と学芸員吉川貴臣の4名です。

この新種記載は、土佐清水市生息地の土地所有者の方の3世代におよぶ長年の保護努力がなければ実現しなかったと思います。

現在、土佐清水市の天然記念物に指定されており、許可なく捕獲することや保護に影響を及ぼす行為は禁止されています。今後は、^{ぎょうせいきかん}行政機関による保全対策のさらなる強化がもとめられます。(園長 渡部 孝)

動物園de就活★

もうすぐ夏休みですね！ 楽しみいっぱいな夏のプランにわくわくしている方も多いかと思いますが、就職をひかえている皆さんにとっては、なにかと忙しい季節ではないでしょうか？

わんぱーくこうちアニマルランドにも、毎年たくさんの『動物園ではたらきたい！』という学生さんがやってきます。今回のアニマルランドNEWSでは、動物園ではたらきたい方に向けた話をしようと思います。（※すべての動物園にあてはまる話ではなく、アニマルランドではこうだよ！というお話です）

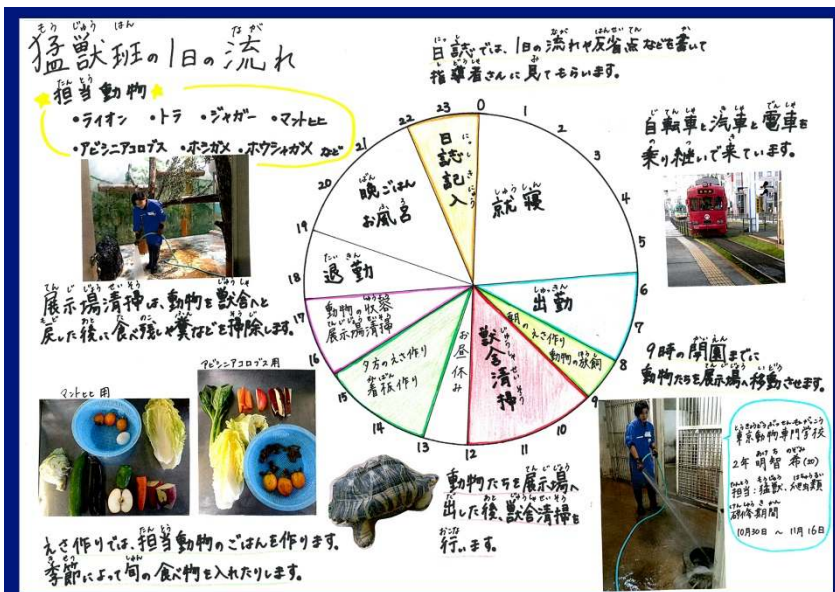
アニマルランドではたらきたい！という夢をかなえるためには、まずは試験を受け…という流れの前に、まずは“お試し飼育員”になってみるという方法をご紹介します！学校のカリキュラムに組み込まれた制度を使って動物園の仕事を体験する、というものです。大学生や専門学校生には、インターンシップなどの企業実習が卒業単位とされているところもあると思います。高校生や中学生では職場体験などの名称になっています。アニマルランドでは中学生は1日、高校生は3日間、専門学校生・大学生だと1週間を基本に希望日数を調整しています。専門学校生以上では、飼育員、動物園獣医師、学芸員(アニマルランドは博物館相当施設です)など、様々な内容の実習を受け入れています。中学生や高校生だと、たくさんある将来の夢のひとつとして、動物園の仕事を体験してみたいといったライトな場合から、ぜったいに

動物園ではたらきたいから今から経験しておきたい！という、はっきりとしたビジョンを持った生徒さんまで幅広くいます。学校を通じての申込のみになりますので、個人的な実習申込はできません。つまり、学生のあいだだけの特権！ぜひ上手に活用してください。実習受け入れについての詳細は、ホームページにあります。小学生にはサマースクールという飼育員体験ができるイベントを毎年夏休みに行なっています。3年生から参加できます。(個人での申込になります)うれしいことに、サマースクールに毎年参加してくれて、その後中学生になって職場体験にも来てくれた生徒さんもいます。将来の夢は獣医師だと聞いたので、いつか動物園人としてまた会えることが楽しみです。

どの実習・スクールも無料で申込ができますが、申込が重なった場合や園の他のスケジュールのためにお断りする場合があります。あしからず。



実習生が作った1日の流れ
よくできています



＜君らしいこと、大変なこと＞
1日の中で清掃に当てる時間が多いです。私は実習中の18日間ほぼ毎日、ホシガメ、ハウシヤガメ、パンケキリガメの展示場清掃を担当しました。皆さんはカメのうんちを見たことがありますか？

＜看板つくりました！＞
実習中はわんぱーく名物の房頂出しパネルを作りました!! 私はバードハウスにいる赤い色鮮やかな鳥、ショウジョウトキをモデルに作りました! ぜひ、パネルを褒めて写真を撮ってください😊

＜感想＞
わんぱーくでの実習を通して動物の知らなからた魅力がたくさん知ることができました。これからは、自分が動物を好きになったことで、多くの人に動物を好きになっていただくために、動物の魅力を広げられるように努力していきたいです!!

では、もう少しだけ深く、どんなことを実習で行なうのかをご紹介します。専門学校生以上の実習では、実習期間中みっちりとお世話をするようになります。現在アニマルランドは、5区画に担当動物が割り振られています。メイン動物でそれぞれの区画を紹介すると、①チンパンジー、②猛獣、③カモシカ、④シマウマ（獣医師）、⑤ふれあい広場です。飼育実習やインターンシップなどでは、期間中全日程いずれかひとつの区画の担当となります。（実習期間が長い場合は、数日間他の区画を体験することもあります）実習内容としては、担当動物のエサ作り、動物たちを展示場に出すための準備、寝室や展示場の掃除など、飼育員が行なうほとんどすべての基本的業務を一緒に行ないます。きっと想像以上に内容はハードだと思います。実際に実習に来た学生さんに作ってもらった看板を載せていますので、参考にしてください。

はじめの数日は慣れない作業に戸惑ったり疲労困憊こんぱいになってしまふと思います。ですが毎日同じ区画で作業するのでたいてい4日目には体も慣れて余裕ができてくると思います。そうすると色々なことに気づくことができるようになることが多いです。なぜ今この作業をするのだろうか、この展示場にある足場はなんのためにあるのだろうか？など、色々な疑問がでてくると思います。時には担当動物の体調変化にも気づくことがあるかもしれません。そうしたら色々問いかけてみてください。恥ずかしいから…とか、迷惑がられるんじゃないか…、間違っちがって変なこと聞いたと思われたりしないだろうか…、なんてことを考える必要はありません。躊躇ちゅうちよしたり遠慮なんかしていたら、あっという間に実習期間は終わってしまいます。貴重な時間と労力（時にはお金）を使って実習にきているのですから、遠慮せずにドンドン聞いてみてください！少なくともアニマルランドの飼育員の場合は、迷惑がるというより、積極的な子だなあ！と喜ぶます。なので、余裕ができてきたら色々なことを聞いてみて下さい。なぜ飼育員になったの？なんて質問も大歓迎です。もちろん、慣れによるミスも出てくる場合もあるのですが、それも実習の醍醐味だいごみ、失敗をおそれすぎる必要はありません。われわれ飼育員も重大な事故につながらないよう、しっかり見守っています。そこは安心してください。

そんな風に、みっちりと同じ区画を受け持って行ないますので、最終日になる頃には、ほとんどの作業を一人で行なうことができるようになる学生さんも多いです。実践じっせんしながらです。中高生の職場体験は、もう少し気軽な内容になっています。でも、想像以上に大変な仕事だった！という感想をもらうことが多いかなと思っています。動物園の飼育員＝いつも動物と遊べて楽しそう、というイメージが変わったと言われたことも。もちろん悪い意味での感想ではなく、「疲れたけど、楽しかった！」という感想とともにでした。

アニマルランドの場合、残念ながら、『実習＝就職活動』ではありません。でも、実践しながらの実習にはなっていると思います。飼育員の仕事をしっかり学ぶことはできるのではないのでしょうか。実習によってつながった縁が、またどこかにつながっていくかもしれません。今後の採用情報源としての実習、という風に活用している学生さんもいますよ。

ちなみにアニマルランドの飼育員になりたい場合は、高知市役所の試験に合格する必要があります。つまりは公務員試験です。毎年募集があるとは言えませんが、例年春先には募集が出ています。

動物園の採用は、それぞれの園で少しずつ違います。飼育員での募集、獣医師、企画運営など職種は様々で、園によって試験内容や受験資格が異なります。そもそも採用自体が少ないという現実がありますので、絶対に将来は動物園ではたらかしたい！という夢を持ったら、はやめに実習を申し込んだり、こまめに採用情報をチェックしてみてください。

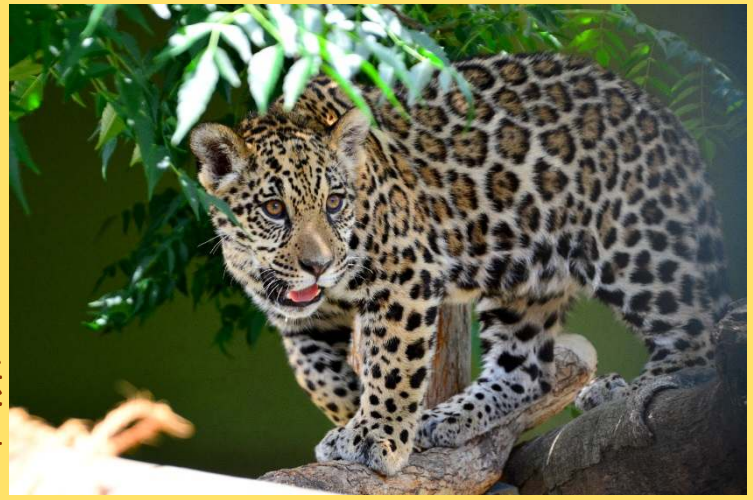


実習中の専門学校生
鳥のための止まり木を設置しています

ジャガー赤ちゃん 「ハク」だより

ジャガー連載③

生後6ヶ月



全国のジャガーを愛して止まないみなさん、こんにちはー！
2018年6月に入り、わが動物園のアイドル・ジャガーの赤ちゃん「ハク」くん。生後6ヶ月となり、体重も25キログラムと、母親のココの半分ほどの体重にまで大きくなり、いたって健康優良児であります。なんと前肢まえあしに関しては、ココとほぼ同じくらいデカくなっています！！（°o°ノ）ノ

今回は毎日、ココからたっぷり愛情をもらい、すくすくと順調に大きく成長しているハクのこれまでの成長の様子や「子じゃが」ならでは！？の興味深い行動が観察できましたので紹介したいと思います。

まず、生後4ヶ月まで定期的に体重測定をおこないました。子じゃがと言っても全身筋肉でできています。見た目よりズシッと重くまた爪がするどいため、細心の注意を払いました。ペットのイヌネコではなく野生動物なんだと身をもって実感したことです！子じゃが模様はココ母のような独特の美しいジャガー柄ではなく、毛足がすこし長い灰色の体毛に全体大小の斑点が散りばめられていました。成長する過程で大きな斑点部分から輪っか斑紋はんもんへと広がり、さらに輪っか斑紋の中に斑点が現れ「ジャガー柄」へと変化するようです。

今年2月の春先に一般公開をはじめましたが、モコモコでよちよち歩きや幼くあどけない表情などココも私たちも一生懸命、成長を見守った日々が懐かしいです。

生後3ヶ月ごろからはお肉にも興味を持ちはじめ、離乳期となりましたが、ちょうどその頃からハクのうんちもココが食べず、よく飲水や池のなかで見かけるようになりました。この「水洗トイレ」、バクやカバ、ハクビシンやアナグマ、アライグマなどの動物園の動物たちもよくする行動なのです。もしかすると、離乳期間近のまだ狩りもままならない子じゃがですから、外敵から自分の身を守るために自分の臭いを残さないための興味深い行動、習性なのかもしれませんね。そんな子じゃが「ハク」ですが、頭部から背中上半身にかけて毛足も短くなり、南米の頂点くんにんに君臨する王者の姿・精悍な顔つきせいけんへと変貌しつつあります。次号につづく。

(吉川貴臣)



ボール遊び
しっかりした爪が出ている



生後15日目
大小の斑紋がぎっしり



親子の模様の違い
ハクは生後6ヶ月
左・ハク



エリマキキツネザルのレーベと

アニマルランドの 新人飼育員として

昨年9月から、わんぱくこうちアニマルランドで飼育員をしています。

幼い頃から飼育員を夢みて、専門学校を卒業後はとくしま動物園と、高知県立のいち動物公園で契約職員として働いていました。そして昨年念願かなってアニマルランドで正式に飼育員となることができました。

現在担当している動物はチンパンジー・キツネザル・バードハウスなどです。8年間他園で飼育作業をしていたとはいえ、勉強の毎日です。特にチンパンジーには苦戦しました。初日から新人イジメのスタートで、口に含んだ水を私の顔にかけるのが日課になり、仲良くしてくれるまでに3ヶ月…。長老タローさんに関しては健康チェックのために体に触らせてくれるまでに6ヶ月もかかりました…。動物の基本的な情報を知っておくのはもちろん、鳴き声や行動などでそのときの状態を見極めなければいけないのはどの動物にも必要なことです。チンパンジーに関しては更に行動をよく観察しないとお互いが危険な目に合うこともあるので、しっかり観察するように心がけています。

その他にも、鳥は非常に敏感なため担当者が変わっただけでもソワソワします。こちらも緊張しますが、鳥たちも同じです。どんなに嬉しいことがあろうとも、バードハウスに入る時はルンルン気分を抑えて入ります。鳥たちは飼育員の様子をよく見ており、少しの変化でエサを食べなくなったり、繁殖を途中でやめてしまったりします。そうならないように気配を消して作業をしたりもします。動物によって対応の仕方が様々なので先輩に教えてもらいながら動物たちと向き合っている毎日です。

飼育員の仕事は掃除や餌作りだけではありません。獣舎の整備はもちろん、巣箱を作ったり、絵を描いたり、看板だって作る何でも屋さんです。動物たちのために想ったら大工仕事も楽しいものです。

最近私が力を入れているのが、動物のトレーニングです。現在はエリマキキツネザルでトレーニングによって体重測定・採血ができるようになりました。動物たちが心も体も健康でいられるように、より良い環境づくりを行うのも飼育員の仕事です。アニマルランドでは以前から先輩方が、消防ホースや塩ビ管、フィーダーなどを使って環境エンリッチメントに取り組んできました。それにトレーニングをプラスして、更に生活の質があがるようにこれからも日々勉強しながら動物福祉を考えていきたいと思っています。

アニマルランドに入ってもうすぐ1年。まだまだ動物を観る力は未熟かもしれませんが、これからも大好きな動物たちのために自分にできることからコツコツと頑張り、動物たちの魅力を伝えていける飼育員になりたいと思っています。

(門谷真奈)



消防ホースでくっつくぐコータ



トレーニングで除毛中



あにまるきゃっち☆ No24



雨の中ご来園くださった親子？をキャッチ☆

左から

芝 睦仁くん(2さい)

森澤 芽以さん

親子に見えましたが、お母さんが検診に行っている間、伯母さんとデートとのことでした。高知市からのご来園です。カメラをかまえると、このとおり、かわいいポーズを決めてくれました。

7月から9月のイベントとお知らせ

7月8日(日)、8月12日(日)、9月16日(日) 14:30～
裏側探検隊 各日先着20名
参加者全員にアニマルランドカードプレゼント♪

7月15日(日)14:00～
第5回カブトムシすもう大会開催
カブトムシ相撲をトーナメント戦でおこないます。国産カブトムシのオスが熱戦を繰り広げます。

7月19日(木)～9月4日(火)
夏の企画展
「進め！高知市立動物園～お城の動物園から67年～」

7月22日(日) 10:30～12:00 13:00～14:30
ミニ水族館来園
足摺海洋館から海の生き物がやってきます

日・祝 14:30～
(裏側探検隊のある日曜日は前日の土曜日に変更)
ワンポイントガイド
動物の解説を飼育スタッフがおこないます

7月30日(月)、7月31日(火)
第26回アニマルランドサマースクール

参加者募集！！

どちらか1日の9:30～15:30まで

対象：小学校3・4・5・6年生(お子様のみの参加)

人数：各日24名(計48名)

☆申込方法

申込期間：7月1日(日)～7月8日(日)

希望日、住所、氏名(ふりがな)、性別、学年、

保護者氏名、電話番号を明記し、電子メール

ファックス、ハガキのいずれかでお申込ください。

応募者多数の場合は抽選、参加の可否は7月18日(水)までに郵送でお知らせします。

8月8日(水)
臨時開園

8月26日(日)
らんちゅう品評会(土佐らんちゅう愛好会主催)

9月17日(月・祝)
敬老の日イベント 長寿動物たちのお祝いを行います。

動物たちのエサの時間

キツネザル	毎日 10:00～
リクガメ	毎日 10:30～
チンパンジー	毎日 13:30～
フラミンゴ	毎日 14:00～

※ 動物の体調により中止になる場合があります

表紙「インドクジャクのオス」

2018年7月1日発行

発行・わんぱーくこうちアニマルランド

〒780-8010 高知市棧橋通6-9-1

TEL088-832-0189 FAX088-834-0929

Eメール kc-171204@city.kochi.lg.jp

編集 久川智恵美

<http://www.city.kochi.kochi.jp/deeps/17/1712/animal/>
アニマルランドニュース 1, 4, 7, 10月の年4回発行
ホームページでも配信

わんぱーくこうちアニマルランド

検索